

あいづばんげ 議会だより

209号

令和5年4月25日発行
福島県会津坂下町議会

目次 -CONTENTS-

第1回定例会・・・・・・・・・・	P 2
令和5年度予算審査・・・・・・・・	P 4
一般質問（8人が登壇）・・・・	P 9
議会の動き（行政視察）・・・・	P14
みんなのひろば・編集後記・・・	P16

令和5年度は あたらしい まちづくり元年

～町長施政方針演説より～

第1回定例会の冒頭、町長がどのような考え方や方針で1年間町政を進めていくかを明らかにする施政方針演説が行われました。

まちづくりの方針

令和5年度をまちづくりの転換期と捉え、「あたらしいまちづくり元年」に位置付け、人口減少対策などの困難な課題に果敢に取り組むとともに、将来にわたり住み続けたいと感じられるまちの実現のため、第6次振興計画の将来像である「やっぱりばんげがいい！～住み続けたい やりたいことがあふれる街～」を目指し、各種施策や事業に取り組みます。

役場庁舎は質の高い住民サービスを継続的に提供する拠点である必要があるため、町民の生命・財産を守り、町民の安全・安心の確保や、災害時における円滑な復旧・復興の拠点となりうる場所に建設するべきであると考えます。

そのため、20年・30年後を見据え、建設場所を「旧坂下厚生病院跡地」としました。会津坂下町が会津西部地区の中核としての機能を果たせるよう、周辺地域との一体的な利活用を図っていきます。

現役場庁舎周辺の跡地は、中心市街地活性化のため、町民の皆様や専門家のご意見を頂きながら、人が集い、賑わいを創出する空間を整備していきます。

役場新庁舎の建設は、町長から場所についての表明がありましたが、まだ議論中です。議会としても、今後新庁舎の持つべき機能、さらには会津坂下町全体のまちづくりについて審議を重ねていきます。

皆さんの声を是非、聞かせてください！

第1回定例会は、3月2日～16日の15日間にわたり開催されました。招集日には町長より人事案件2件が提出され可決、条例11件、その他1件、当初予算8件が提出されました。また、議員提出議案も1件提出し、可決しました。最終日には補正予算8件の追加議案が提出され、議案全28件全て可決、請願1件を可決し、意見書の提出についても可決しました。

定例会

【第1回定例会で 審議された内容】

- 個人情報の保護に関する法律の改正による条例の改正



- 職員の通勤手当・日直手当、農業委員会、学校運営協議会委員の報酬の改正



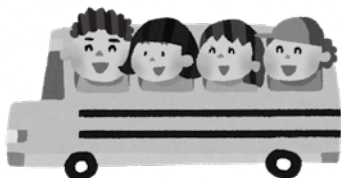
- 国民健康保険の出産一時金の増額、国保税の限度額の改正



- 民法等の一部改正による会津坂下町水道事業給水条例の改正



- こども家庭庁の設置に伴う条例改正、感染症及び通園バスでの安全基準の改正に伴う関係条例の改正



令和5年度予算における 町の最重点施策

過疎対策

4つの柱

「関係人口対策」

大学生や地域おこし協力隊の積極的な活用による地域活性化を図ります。

また、会津坂下町ふるさとサポーター制度の導入や、ふるさと納税の推進により町を応援していただく方々を増やしてまいります。

「定住人口対策」

住宅取得支援補助金事業や移住支援金事業により、子育て世代・若者世代をターゲットとした移住・定住を促進して参ります。

「交流人口対策」

会津坂下町移住定住推進協議会が主体となり、お試し住宅を活用した魅力発見・体験ツアーを実施します。

「少子化対策」

ばんげ縁結び応援事業及び結婚生活応援事業による不妊検査費用の助成をします。

また、出産・子育て応援交付金事業により、妊娠期から出産・子育て期まで、相談支援と経済的支援を一体的に実施します。

予算の内容は次ページ

令和5年度予算

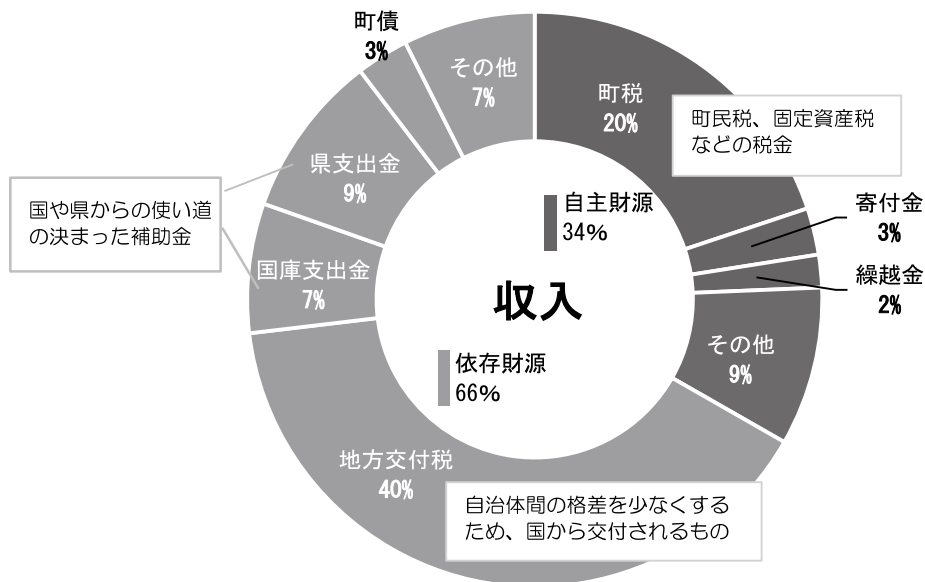
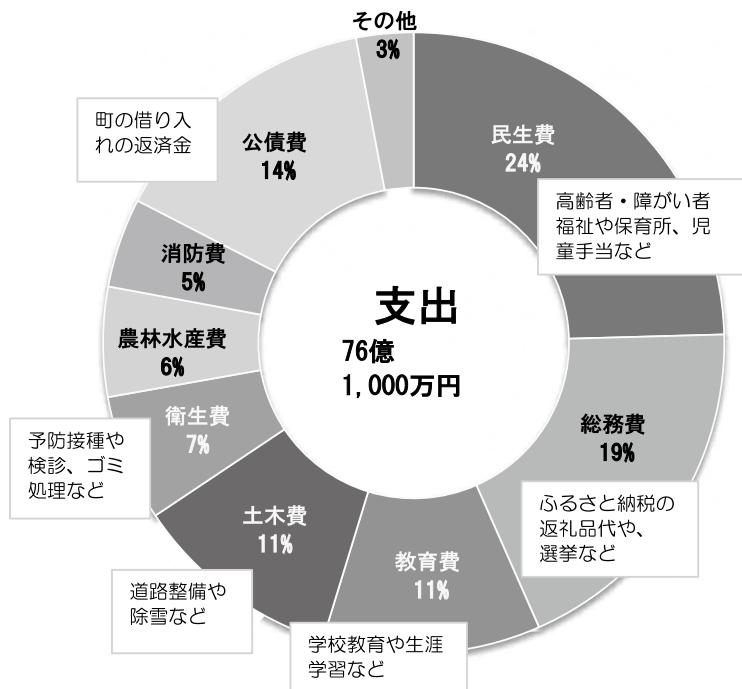
一般会計

76億 1,000 万円

前年度から1億1千万円増

アフターコロナを見据えた地域活性化の取り組みを継続し、「まちの将来像」を実現するための各種政策・施策の実現のための予算編成となっています。

また同時に、令和6年度までを財政健全化最重点期間としていることから、今後も財政健全化アクションプランに基づき、財政健全化に取り組めます。



その他の会計

会計		令和5年度予算	前年比
特別会計	国民健康保険	18億 2,738万 9千円	4,561万 7千円 増
	介護保険	23億 5,844万 9千円	1,559万 9千円 減
	後期高齢者医療保険	2億 933万 3千円	912万 7千円 増
	下水道事業	6億 3,880万円	9,910万円 増
	坂下東第一地区土地区画整理事業	2億 2,544万 6千円	3,652万 9千円 増
	農業集落排水	6,690万円	54万円 減
水道事業会計	収益的収入	4億 9,017万 3千円	2,525万 4千円 減

予算特別委員会が2日間にわたり開催され、令和5年度の予算に多くの質疑を行いました。主なものを要約してご紹介します。

予算 審査

過疎対策 地域おこし協力隊

議員 地域おこし協力隊に今後期待するものは？

古民家カフェ用地の購入は町で今購入すべきもののなのか。

課長 現在2名の協力隊員が、古民家をDIYで改修し、3年間の任期中にカフェをオープンすることを目指しています。完成した古民家カフェを協力隊の拠点として、そこから巻き起こる仕掛けづくりをしていきたいと考えており、町の事業ととらえています。

そのためにも、町が用地を購入し、支援をしていくべきと考えます。

出産子育て応援給付金事業 **902万円**

議員 これはどんな事業か。また、対象者は。



課長 令和5年1月から開始された、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型の子育て支援」事業です。

母子手帳の交付時に5万円、乳幼児全戸訪問の際に5万円、合わせて10万円を給付するもので、年間90名を見込んでいます。

また、国の事業である非課税世帯の方に対する妊娠検査の費用助成も見込んでいます。

電気料金の上昇 **2,300万円増加**

議員 電気料はトータルでどのくらい上昇しているのか。

課長 全て合わせると2,300万円程増加しています。その一部が普通交付税措置されます。

交通安全対策費 タクシー利用券 **50万円**

議員 対象者など事業の詳細はどのようなものか。

課長 免許返納をされた全ての方を対象に、1名につき200円の券を50枚、合計1万円分交付します。

障がい者福祉費 基幹相談支援センター事業 **134万7千円**

議員 内容はどのようなものか。

課長 多様化・複雑化する福祉に対応するため、近隣の6町村で共同設置します。

障がい以外も含めた総合的、重層的な相談に応じるとともに、地域支援体制の強化として、新たな地域資源の発掘や相談事業者への助言、人材の育成などを行います。

議員 障がい者だけではなく、相談したくてもできない人たちがいる。その方たちへの対応は。

課長 民生委員や区長などと情報共有をし、町としていつでも相談に応じます。

消防団員準中型免許取得補助

19万4千円

議員

免許取得補助とあったがその内容は。また、班域の変更の考えは。

課長

団員がポンプ車を運転できるよう、準中型免許の取得、オートマ限定解除をする際、費用を補助するものです。

班域は変更せず、団員を融通しながら初動体制の確保をしていきます。

街路灯修繕

444万5千円

議員

南幹線の街路灯を修繕するとのことだが、今の街路灯は暗い。どのようなものを設置するのか。

課長

今のものは歩道専用で暗いのは承知しています。

新たなものは電柱の高い位置にLEDの照明を設置し、明るさを確保します。

学校教育アドバイザー スクールソーシャルワーカー 特別支援教育支援員

2,930万1千円

議員

それぞれどういった方が、どのような活動をしているのか。

課長

学校教育アドバイザーは、指導主事に代わり、先生や授業のアドバイスをしています。令和6年度からは指導主事の先生に来ていただけるよう調整しています。

スクールソーシャルワーカーは、児童生徒の悩みや、家庭での困りごとなど、幅広く相談に乗り、必要な支援や医療につなげています。

特別支援教育支援員は教員免許を持った方が特別支援学級に入り、授業の支援や生活面での支援を行っています。

それぞれが連携し児童生徒がより良い学校生活を送るための支援を行っています。

施設型給付費

保育士の処遇改善

議員

施設型給付費には国の施策である保育士の処遇改善のためのお金が含まれている。確実に保育士の給料に反映しているのか確認はできているのか。

課長

民間の保育施設は毎年実績報告を受けており、その監査の中で給料に反映されているか確認しています。

町の保育所や幼稚園に勤務する会計年度任用職員は、職員の給与表を基に給料を支給しており、保険や年金の面でも改善されてきました。

今後も必要な見直しを行い、改善をしていきます。

スキー場周辺施設

利活用調査委託

444万5千円

議員

スキー場をどうしていくのか、町の考えはあるのか。

課長

例えばキャンプでの利用など、スキー場以外での利用が出来ないか考えています。そのために具体的な進め方やPRの仕方などを専門の方にご意見を頂く予定です。



議員

コンサルタント業者に委託となると他と同じような事業になってしまいがちである。ワークショップをするなど、住民と考えていくべきではないのか。

課長

基礎調査を委託により行ったうえで、プレイベントも開催する予定です。

その中で、住民の皆さんのご意見をお聞きできればと考えています。

討 論



《令和5年度
会津坂下町一般会計予算》

反対

令和5年度は坂下町のこれからを決定づける重要な一年になります。

本議案は、町長の執行方針・予算方針であり、新庁舎を移転するための予算編成が盛り込まれております。これには断固反対を貫いていきたい、よって本案に反対するものです。
(五十嵐一夫議員)

賛成

全体では財政健全化アクションプランに基づき財政調整基金の確保など町財政の健全化が着実に前進している事を高く評価します。

しかし、新庁舎建設関連費は更なる説明の必要があり、今後を注視します。

どのような社会情勢でも住民サービスの向上に努めることを念頭に、今後の予算執行にあたることを切望します。

(赤城大地議員)

保育料等で約750万円の増収見込みですが、低所得者層ほどその負担感は大きくなっています。諸物価も高騰しているため、保育料値上げを止めるよう期待します。

大プロジェクトが動き出しており、遅滞なく進むよう念願するものです。

(渡部正司議員)

自主財源の確保においては、ふるさと納税で3億5,000万円の実績見込みとなり、また、財政調整基金残高が7億5,000万円を超える見通しとなっています。

事業執行と財政健全化のバランスを取りながら行政運営を行える内容であると考えます。

(物江政博議員)

予算特別委員会

委員長・副委員長より



令和5年度予算に対し、各議員より活発な質疑がなされました。

(委員長 横山智代議員)

初めての職務で緊張しました。

(副委員長 目黒克博議員)

「過疎対策」を中心に置き、子育て・教育、健康づくり、福祉の充実、産業・商工業の振興のための政策実現のために積極的に取り組む予算編成を、私は高く評価します。

令和5年度の予算執行は、財政健全化を常に念頭に置きながら、当町の持続的発展に向けた最善の行政運営を強く要望しまして賛成討論とします。

(蓮沼文明議員)

町の目指すべきは町民の福祉向上であり、本予算案は持続可能なまちづくりに向け、評価すべき内容となっております。

しかし、実質賃金の大幅な低下や、物価の上昇など厳しさを増している状況を踏まえ、保育料の値上げは凍結することを期待しつつ、賛成の討論とします。

(小畑博司議員)

古川町長は、令和5年度を『あたらしいまちづくり元年』と位置付け、第六代会津坂下町振興計画が反映された予算編成となりました。

しかし、福祉基金2億8,500万の一般会計への繰替運用が不適切な状態で長年続いています。会津坂下町福祉条例に則り適切な対応がされることを切に望みます。

(佐藤宗太議員)

請 願 ・ 陳 情

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める 意見書提出請願書

提出者 日本労働組合総連合会福島県連合会
両沼地区連合会 議長 青木和久

紹介議員 小畑博司

内 容 「賃金の経済政策」としての最低賃金
の引き上げの重要性を強く認識し、福
島県最低賃金は早急に 1,000 円を目指
した引上げを行うこと。

本会議で採択され、意見書を送付しました。

議案第 3 号

会津坂下町個人情報保護法施行条例

反対

横山 智代 議員

個人情報保護法の一元化は、行政が特定の
目的のために集めた個人情報を企業に開放し
企業の儲けの種として利用し、成長戦略に繋
げようとするものであり、個人情報保護の取組
には限界があると考えられます。

人 事

固定資産評価委員

氏名 渡辺 光政氏(舟渡)

任期 令和 5 年 4 月 13 日～

令和 8 年 4 月 12 日

賛成多数で同意されました。

※ 固定資産課税台帳に登録
された事項に関する不服
の審査などを行います。

人権擁護委員候補者

氏名 山内 恭子氏(新富町)

任期 令和 5 年 7 月 1 日～

令和 8 年 6 月 30 日

議会の意見書を付け、法務省
に推薦します。

※ 人権相談を受け、問題解
決のお手伝いをしたり、人
権について関心を持って
もらえるような啓発活動
を行ったりしています。

私はこちら判断！

賛否の別れた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	目黒克博	蓮沼文明	物江政博	赤城大地	横山智代	渡部正司	佐藤宗太	山口享	青木美貴子	渡部順子	五十嵐一夫	酒井育子	小畑博司	水野孝一
議案第 3 号 会津坂下町個人情報保護法施行条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第 4 号 会津坂下町行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第 7 号 会津坂下町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第 8 号 会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第 14 号 放棄した権利の額の変更について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
議案第 15 号 令和 5 年度会津坂下町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません														

一般質問



町の考えを問う

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。一人当たりの持ち時間は答弁を含めて50分です。

掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報広聴特別委員会が校正したものです。

一般質問の映像を議会のホームページのほか、YouTubeでも画像を配信しております。

また、会議録もホームページでご覧いただけます。

画像配信は
こちらから



会議録は
こちらから



問 現在町の考えとして示されている役場新庁舎建設位置（旧厚生病院跡地）については、会津坂下町都市計画マスタープラン及び用途地域との整合性はとれておりません。マスタープランは中長期的な計画ではありますが、社会情勢に合わせた見直しは必要と考えます。また用途地域の設定についても現在の土地利用の需要と合わない状況が生じております。そのため、新庁舎建設場所のみならず、まちづくりの方向性も議論に加えながら都市計画および用途地域の見直しについて関係機関との調整を進めながら取り組んでまいります。

答

現在町の考えとして示されている役場新庁舎建設位置（旧厚生病院跡地）については、会津坂下町都市計画マスタープラン及び用途地域との整合性はとれておりません。マスタープランは中長期的な計画ではありますが、社会情勢に合わせた見直しは必要と考えます。また用途地域の設定についても現在の土地利用の需要と合わない状況が生じております。そのため、新庁舎建設場所のみならず、まちづくりの方向性も議論に加えながら都市計画および用途地域の見直しについて関係機関との調整を進めながら取り組んでまいります。



赤城大地 議員

新役場庁舎建設の議論は都市計画と整合性がとれているのか
整合性はとれておりません。今後都市計画の議論も併せて行います

問

町役場新庁舎建設の一連の議論において、そもそもの都市計画の議論が欠落しているように思われる。マスタープランと異なる計画案を実行するのであれば都市計画あるいは用途地域の設定の見直しの議論が先決と考えるが見解を伺う。また現在示されている新庁舎建設位置は都市計画と整合性がとれているのか併せて伺う。

答

若者による地域づくり推進事業の具体的な活動として「会津坂下町NGB（ニュージェネレーションばんげ）課」を会津農林高等学校、一般社団法人会津坂下青年会議所とともに立ち上げました。

問

移住・若者による地域づくり推進事業について来年度以降の展望について伺う。

来年度の若者による地域づくり推進事業の展望は
会津坂下町NGB課を中心にいきます



NGB 課キックオフ
会議の様子



五十嵐一夫議員

小川原地内県有地無償譲渡を願え

無償譲渡は難しいと考えています

問 県は統合後の廃高等学校施設について無償譲渡の考えです。坂下東第一土地区画整理地区内県有地「農業試験場ほ場跡地」について、取得が必要なのか、取得するなら無償譲渡を願え。

答 平成元年から町が取得する方向で協議を進め、平成15年度にはライブセンター整備のため払下げ要望を提出しましたが財政的な理由から整備には至っていません。県も町への譲渡を前提に、他への譲渡を留保していた経緯から、令和6年度に県有地を取得するものです。

県有地の取得協議は、町が利用目的を提示し、県が土地鑑定を行い、県の審議会を経て価格が決定されるため、無償譲渡は難しいと考えています。

問 高齢者のサロン事業に町は積極的にかかり取り組め。

答 高齢者の生きがいづくりや健康維持、地域での見守り体制の構築の取り組みとしてサロン事業を実施しています。社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを

配置し、地域の中に入り、情報交換をしながら、地域での新たなサロンの起ち上げ支援、運営地域課題解決支援、各種講師派遣のサポート等を行っています。また地域住民が自主的に運営する活動となるよう取り組んでいます。

問 「子供会」の入会・未入会の是非について。

答 子供会は各行政区単位で任意に組織されており地域コミュニティの基盤の一つです。小学校の通学班による登校、資源回収の奉仕活動、学年の違う児童交流など加入はメリットが大きいと考えます。



諏訪鉄寿楽会サロン

これも質問

問 坂下高校の統合後
問 移住・定住・交流人口拡大対策



横山智代 議員

ゴミ袋の価格を下げ、質を向上させられないか

価格の引き下げは行わず、現在の袋を使用していきます。

問 可燃ゴミ袋は切れやすい。材質は変えられないのか。

答 本町のゴミ袋は、可燃・不燃・おむつ（専用）袋があります。材質は、可燃袋（おむつ袋）は全て高密度ポリエチレンを使用し、不燃袋は直鎖状低密度ポリエチレンを使用しています。可燃袋は、透明度が低いためゴミ袋の中身が分かりにくく、引つ張る強さにも優れているというメリットがありますが、穴が開くと縦に裂けやすいデメリットがあります。

不燃ゴミ袋は、可燃袋より引つ張る強さに弱いですが、伸びやすく裂けにくいメリットがあり、デメリットとしては透明度が高いため中身が見えやすくなります。可燃袋を不燃袋と同じ材質に変更すれば裂けにくくはなりますが、透明度が高いため中身が見えやすくなり個人情報保護上好ましくありません。引つ張る強さに弱いので現在の厚さより厚くする必要があり、経費も増加します。近隣市町村のゴミ袋と比較しても質的に差はないと考えられます。今後も現在の

ゴミ袋を使用してまいります。

ゴミ袋の価格は、ごみ処理有料化の取組について、町民の皆様のご理解とご協力を得て、ごみ排出量の削減及び排出者の負担の公平化を目的に実施しておりますので引き下げは考えておりません。価格には、原価と町の手数料等が含まれています。環境センター負担金、資源回収報償金、カラスネット購入補助金などに充当しています。

移住・定住人口対策の取組を伺う

居住地として選択していただけるまちづくりを進めてまいります。

問 子育て世代に対しての移住、定住に対する考えを伺う。

答 妊娠期から出産、子育て期のライフステージに応じた切れ目のない支援制度と合わせて、きめ細やかな移住相談体制により、子育て世代である若者の定住によって活気に満ちあふれ、町が活性化することを期待します。



蓮沼文明 議員

障がい者等福祉事業「8050問題」での町の取り組みを伺う
誰一人取り残さない、自立した生活が送れるような共生のまちづくりを目指して参ります

問

障がい者等福祉事業として※「8050問題」への本町の現在の状況と今後の取り組み方針は。

答

現在本町は、「会津西部地域生活支援拠点」として、周辺5町村と協定を締結し、広域的な支援体制の整備を進めております。この取り組みの中で、家族の入院などにより、介護をする方がいなくなってしまうことで、障がい者がひとりになってしまわぬように緊急的な受入先の確保を行っております。

今後の取り組みとしては、事前に親元から離れての生活を体験することで自立のきっかけとなるような体験の場の確保など、さらなる体制の整備を進め、誰一人取り残すことなく、全ての町民が等しく、個人として尊重され、人として尊厳をもって自立した生活を送ることができるような共生のまちづくりを目指して参ります。

※80代の高齢者の親が、50代の障がい者等の子どもたちの生活の面倒をみなくてはならないという問題

問

福祉避難所の場所と周知方法は

今後、建物に看板設置等を行い、周知徹底に取り組んで参ります

答

福祉避難所の場所及び周知方法等に問題点はないのか。本町では、町健康管理センターを福祉避難所として指定しております。周知方法につきましては、町地域防災計画においてお知らせしておりますが、ご指摘のとおり、現在は看板もありませんので、周知徹底を図るためにも今後、町健康管理センターには、「福祉避難所」の看板等を設置して明確化に取り組んで参ります。

これも質問

問 町内企業における障がい者の一般就労雇用率等を問う。

問 新年度の地域おこし協力隊のスポーツ活動支援の内容を問う。

問 ひがし公園の老朽化した遊具に対し、新規遊具の導入を新年度早期に実施すべきと考えるが、町の見解は。



小畑博司 議員

新庁舎建設はわかりやすく進められているか
丁寧とは言いいない部分もありました

問

これまでの進め方は、町民にとって分りにくく、丁寧な進め方とは言い難い。今後にも関わるので考えを伺う。

答

建設場所選定における条件や配置計画等については、丁寧な説明とは言い難い部分もありましたので、今後は詳細な内容を示しつつ丁寧に進めてまいります。また、町や議会がどのような手続きで動いているのか、進捗状況も含め広報してまいります。



福島しあわせ運べるように合唱団

問

保育料の大幅な引き上げは時代に逆行しているのではないかと定期的に状況を踏まえ見直してまいります

答

保育料の引き上げは昨年の6月定例会において賛成多数により可決された。しかし、未だに納得ができない。しかも低所得者に対する配慮も感じられない。時代に逆行しているのではないかと。

これも質問

問 農業振興でまちを活性化せよ。

保育料の改訂方針は、さまざまなご意見を参考に経済的支援・受益者負担の公平性・算定の透明性の視点から整理し、より多くの方から納得の得られることを念頭に策定しました。なお、定期的に状況を踏まえ検証してまいります。



渡部正司 議員

**物価高騰下の保育料値上げは凍結すべき
個別対応や減免等で負担軽減を図ります**

問 保育料は、国基準額の五割負担に改定され本年四月より実施される。約一、五倍値上げの負担感は低所得者層ほど大きいものであることから改定に反対してきた。相次ぐ物価高騰は生活を直撃している。値上げを止めるべきではないか。

答 保育料等の改定方針を定めるにあたり、施設の安定運営を考慮し、利用者の経済的支援と受益者負担を加味、低所得世帯への配慮を含め策定しました。保育料は上がりますが、町の考え方を整理したものであり、ご理解を頂けるものと認識しています。適用時期も、子ども・子育て会議等や議会を経て決定されたもので、本年四月から適用されます。

物価上昇では影響を受けていると認識し、保育料等については、ご意見やご相談に個別に対応します。生活困窮世帯については、減免等により負担軽減を図ります。

問 保育所に通っていない未就園児の把握や状況をどう考えているか。

答 未就園児の保護者は、孤立しがちで、子育て悩みの相談相手がいけないなど、家庭によっては子どもの健全育成への影響が懸念されます。未就園児は、現在約百五十名を把握し、全戸訪問や健診等で相談等を行い必要な支援へ繋げております。



笑顔あふれる「ばんげ保育所」

問 旧坂下高校・旧厚生病院跡地活用について



佐藤宗太 議員

**次年度の予算編成の重要施策の考え方は
今年度に引き続き過疎対策と位置付け人口減少に取り組みます**

問 次年度の予算編成の考え方は

答 人口減少は、様々な問題の要因であり、町の衰退にもつながるものであると危機感を持っております。これまでの「交流人口対策」、「関係人口対策」、「定住人口対策」に、新たに「少子化対策」を加えた「4つの人口対策」に取り組んでまいります。

問 自己財源確保の考え方は

答 全国的に人口減少により税収が減額となっていくことが予想される中、大変重要であると認識しております。

ふるさと納税は、本年度は、2月末現在、3億5千万を超え過去最高額となっております。

本町の税の基幹となる町民税及び固定資産税の増収のため、町内企業への支援、近隣市町村と連携した企業誘致などによる就労の場の確保、未利用の町有地の民間への売却等による人口対策に取り組むことで、町税の確保に努めてまいります。

問 通学バス利用対象外である生徒への、冬期間の通学支援をどう考えるか

答 地区から要望もあります。積雪時は自転車での通学が困難となるため、冬期間のバス通学に向けて関係機関と協議を重ねていくところです。

新学期に通学バス利用についてのアンケートを実施し、会津乗合自動車と各路線の乗車可能人数なども確認し、次年度に冬の間の通学バス利用を實現するため、取り組んでまいります。



問 当町国有林に埋設されている枯葉剤の対応をどのように考えているのか。
問 国際理解教育をどのように位置づけ、どのように進めていくのか。
問 道の駅あいづ湯川・会津坂下について。



目黒克博 議員

街なか賑わい創出事業は

街活性化のため実施をしていきます

問 空き店舗活用・中心市街地活性化の具体的な取組は

答 旧坂下区域全体が中心市街市街への人の流れを作るべく、商工会関連団体と連携しながら、空き店舗等の利活用を促進するための取り組みを実施してきました。

今後も、新庁舎建設と並行して、町民の皆様や専門家のご意見をいただきながら、中心商店街に人が集い賑わいを創出する空間を整備し、商店街や商工会・各種団体と連携をとりながら、街活性化のための事業を実施してまいりたいと考えております。

定住人口対策について問う

子育て世代・若者世代への支援とより一層移住・定住を推進します

問 子育てを対象とする支援と移住・定住の具体的施策は

答 安心して子育てしやすい環境を整備するため、住宅取得費用の一部を助成する「会津坂

下町住宅取得支援事業」と、首都圏からテレワーク等で移住を支援する「会津坂下町移住支援金交付事業」を実施しております。

令和5年には住宅支援金の加算額の拡充と39才以下の新婚世帯を対象に住宅取得費用やアパートの賃貸費用、引越し費用など最大60万円を上限に補助する「会津坂下町結婚新生活応援事業」を新設し、より一層移住・定住を推進してまいります。

問 若者世代の婚活イベントについて考えよう

答 県実施のオンライン型マッチングシステム「はぴ福なび」の登録料を補助する「ばんげ縁結び応援事業補助金」を実施し「出会いの場」を創出することで結婚への機運を醸成します。

また町移住定住推進協議会や近隣市町村と広域連携をし、自然を活かした魅力ある婚活イベント開催を、結婚を望む多くの方の支援に繋げた取り組みをしてまいります。

議会を傍聴してみませんか？



手続きは簡単！議場前にある受付簿に名前を書くだけです。
ぜひ傍聴にお越しください。

【令和5年第2回定例会日程（予定）】

6月8日（木）招集日
12日（月）・13日（火）一般質問
16日（木）最終日

※傍聴の際、マスクの着用をお願いします。
※日程は変更になる場合があります。



追跡
レポート

あの質問は どうなった？

問 後継者で悩む方も多くいます。自治体が仲立ちをして農業技術や農地の第三者継承を支援するシステム構築する考えは？

答 これまで農業委員会等で協議を重ねてきました。第三者継承を支援するシステムの運用を、令和5年6月を目途に開始します。



第三者継承を支援するシステム構築を！
（小畑博司議員）

答 着手に向け準備中

議会では常任委員会ごとに町の課題を解決すべく、テーマを決めて、3年ぶりに行政視察を行いました。その内容を報告します。



山梨県 北杜市で 移住定住について学ぶ

北杜市は、将来にわたり安心して暮らす事の出来る計画の強化に取り組んでいます。そこで「第2次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」計画を立て、定住人口の確保と活性化を図っていました。具体的には、※「メタバース」での婚活イベントを全国で初めて開催し、8組が成立しました。このイベントは、長野県の富士見町、原村と連携し開催されたもので、3市町村は八ヶ岳定住自立圏を構成し、移住・定住人口の確保に取り組んでいました。

※メタバースとは、インターネット上の仮想空間です。
(目黒克博議員)



メタバース
婚活の
パンフレット



株式会社オキサイド(山梨県北杜市)会津坂下町出身の古川社長の(株)オキサイドを訪問しました。
「光の時代として結晶と光で世の中を幸せにする」という信念のもと、大きくされた会社です。
町への工場誘致が望まれます。

(山口 享議員)

総務産業建設
常任委員会
2/7 ~ 2/9



神奈川県 開成町で ZEB 認証庁舎について学ぶ

神奈川県開成町ではZEB認証庁舎の取り組みについて、視察しました。

「ZEB」とは建物内において生産消費する(電気)エネルギーの収支を0にすることを目指した建物で、主に再生可能エネルギーの活用により実現します。

開成町では日本で初めてこのZEB認定を庁舎で取得しており、庁舎のランニングコストの抑制についておおいに参考となりました。

(赤城大地議員)



特徴のある明るい
窓口ロビー

埼玉県 北本市で 庁舎の維持を学ぶ

【新庁舎の概要】

・地上 4階建

(実質3階建て・4階機械室)

・庁舎職員399名(臨時含む)

・総工費…36億3,782万円

・庁舎分…31億1,950万円

・併設施設…児童館・防災倉庫棟

・光熱水道費対策としてガス、電

気を併用

・雨水を利用

(地下タンクに貯水し、トイレや散水などに利用)

【新庁舎の維持管理】

・シンプルが一番

・メンテナンスを

する際、管理の

しやすい素材を

選ぶ

(横山智代議員)



ここを
活かす

○人口減少対策は、広域の観点も重要

○新庁舎建設は、再生可能エネルギーの活用や、ランニングコストの抑制も重要

(佐藤宗太委員長)

東京都世田谷区立桜丘中学校で 校則のない学校について学ぶ



職員室前の廊下に設置された学習スペース

この表示がある場所でのみスマホの利用が可能

(青木美貴子議員)

当初は「校則のない学校」として歩き始めましたが、現在では自由の中でも駄目な事はダメだという認識が必要と、少しずつ見直しがされています。

スマホの使用も、拒否するのではなく、「スマホを使って良い時間と場所はどこだよ」と示しており、そういう意識改革は必要だと感じました。

挨拶をする・時間を守る・授業を大切にすることのグッドマナーと共に、多様性の尊重と受容・活かしあいの精神で人権教育を重んじ、校則のなくなる環境づくりを試みています。

支援する人の意識改革をはじめ、ホームページなどを活用して家庭・地域社会との連携・協力を図り、信頼関係を深める指導をしていました。そういった指導方針もあってか、区外からの入学希望も多いそうです。

挨拶をする・時間を守る・授業を大切にすることのグッドマナーと共に、多様性の尊重と受容・活かしあいの精神で人権教育を重んじ、校則のなくなる環境づくりを試みています。

当初は「校則のない学校」として歩き始めましたが、現在では自由の中でも駄目な事はダメだという認識が必要と、少しずつ見直しがされています。

スマホの使用も、拒否するのではなく、「スマホを使って良い時間と場所はどこだよ」と示しており、そういう意識改革は必要だと感じました。

社会福祉法人清瀬わかば会で 障がい者の居場所づくりについて学ぶ

東京都清瀬市の総合的障がい者支援施設を運営する「清瀬わかば会」を視察しました。設立当初から支援を続けてきた清瀬市議会の議長にも出迎えていただき、施設内は、職員の方と入所者の元気な声が響いていました。

小学校の保護者による活動から始まり、50年余りの歴史のある施設で、法人化してから、はや23年になるとのことです。児童生徒の居場所づくりや作業所は勿論、立派なシェアハウスが3棟あり、1棟に男女5〜6人が生活しています。

成人してからも自立し、自分らしく、生まれ育った町で人生を全うできる施設となっていました。

わが町の施策にも活かしたいものだと感想でした。

(小畑博司議員)



障がいのある方が共同生活をしているシェアハウス

文教厚生
常任委員会
1/30 ~ 2/1



茨城県 水戸市で 部活動地域移行について学ぶ

水戸市では、5部活動（サッカー、テニス、剣道、バスケットボール、卓球）を地域クラブに移行し、実践研究をしています。

導入前と比較し、教員は精神的負担の軽減につながっており、生徒は専門的指導を受けられ、指導者と顧問の連携により部活動が主体的な活動となったといった成果が上がったとのこと。

一方で、受益者負担になる事への保護者の理解や、実施主体の確保、指導者の条件、研修、予算、場所の確保の問題もあります。

子どもの環境改善が主目的で、教員の負担軽減のためではないとの説明が印象的でした。

(渡部正司議員)



ここを
活かす

- 多様性の尊重と「意識改革」が重要
- 誰一人取り残さない共生社会のための『自立』支援が重要
- 指導者の確保・保護者の負担軽減、「枠組み」の整備が重要

(蓮沼文明委員長)



導入に向け検討が進んでいる中学校の部活動地域移行。

変わりつつある部活動について紹介します。

今回は、3月まで坂下中学校柔道部で顧問をしていた、外井先生にお話をうかがいました。



坂下中学校 柔道部

坂下中学校柔道部は、男子12名、女子4名が練習に汗を流しています。

部員は小学生の頃から坂下スポ少や、喜多方スポ少で経験を積んできた生徒がほとんどですが、中学校入学後に柔道を始めて頑張っている生徒もいます。それぞれが自分たちの技能・体力面と精神面の目標を設定し、それを達成すべく地道に練習に励んでいます。

顧問の真壁教諭による自分の柔道経験に基づく情熱あふれる指導と共に、外部コーチの物江雄介氏が平日の放課後のみならず休日にも指導に当たってくれています。

練習は準備運動や補強運動に始まり、寝技の稽古、立ち技の稽古へと進んでいきます。真壁教諭の指導をさらに自分たちで考えながら反復していくのが練習の特徴です。苦しい時こそ一つにまとめ、力を出し切る事が坂下中柔道部の大きな目標でもあります。



また、保護者の方々の大会や合同練習会への引率や応援、そして道場に足を運び、部員の姿を見守って下さる温かさが部員たちの励みになっていると常々感じています。



外井 隆先生

広報広聴特別委員会
委員長 小畑 博司
副委員長 横山 智代
委員 目黒 克博
委員 蓮沼 文博
委員 物江 政博

春の暖かい光と風の中で、花木や樹木の新しい芽吹きを目にする、寒さの厳しかった冬期間の記憶も少しずつ和らいでいくような気がします。

さて、令和5年度がスタートし、一ヶ月が経過しようとしています。三年前の春に発生した新型コロナウイルスも来月から第5類へ引き下げられ、今後ますます「誰ひとり取り残さない」地域共生社会、継続できるまちづくりが求められます。

希望に溢れたまちづくり実現のために、町議会は今後も皆さんの声を聞き、共に歩んでまいります。

(蓮沼 文明)

編集後記